福山市

当初設計

2026年度

沖野上新涯幹線1号歩道橋

福山市　　新涯町二丁目　　地内

横断歩道橋修繕工事　実施設計書

工事概要	当初設計		
	工事延長	L=33.4m	
	橋長	L=33.4m	
	有効幅員	W=2.0m	
	ナット取替工	N=8本	
	目地止水工	L=3.8m	
	塗替塗装工	A=396m2	
	仮設工	一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

・本特記仕様書は、横断歩道橋修繕工事（沖野上新涯幹線１号歩道橋）に適用する。
・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
・令和8年8月　広島県　土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
・その他関連規格類
・小黒板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節　工程表の提出について

・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節　地元への周知

・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節　施工承認図の作成

・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節　工事に着手すべき期日について

・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第6節　法定外労災保険の付保について

・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第7節　保安施設設置基準について

・工事標示板及び工事説明看板の挨拶文の記載については、広島県保安施設設置基準に準じたものにすること。

第8節　再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章　施工条件

第1節　検査期間

・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節　鋼部材の既設塗料に含まれる物質

・本橋の鋼部材に使用されている塗料には下表に示す物質が含有していることが事前調査で判明している。

物質名	：含有量
鉛	：検出せず
総クロム	：1400mg/kg
ＰＣＢ	：検出せず

第3節　交通誘導警備員

1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
4　本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
5　受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節　任意仮設

・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
・内容：歩道橋足場工

第5節　産業廃棄物（既設塗料の剥離やかき落とし作業で発生する廃棄物）ＰＣＢ含有量及び鉛溶出量及び六価クロム溶出量基準値以下

・産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
・塗料廃棄物は鋼製のドラム缶またはペール管に密閉して保管し、速やかに処分するものとする。また、使用した作業服等の保護具も同様に保管して処分するものとする。
・塗料廃棄物の処理に要する費用（運搬費を含む処理費）は、廃棄物処理法に基づき環境大臣が認可、または都道府県知事等が許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と処理費の合計が最も経済的になる下記住所の施設を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、塗料廃棄物の処理に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
・受入施設住所：福山市箕沖町107-5
・受入施設が求める各成分の溶出試験について次のとおり実施している。

物質名	溶出量
鉛又はその化合物	：0.005mg/L未満
六価クロム	：0.04mg/L未満
カドミウム又はその化合物	：0.001mg/L未満
ひ素又はその化合物	：0.005mg/L未満
水銀又はその化合物	：0.0005mg/L未満
アルキル水銀化合物	：0.0005mg/L未満
セレン又はその化合物	：0.002mg/L未満

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。次のとおり再利用すること。

第8節　排出ガス対策型建設機械の使用促進

・令和8年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第3章　その他

第1節　その他項目

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節　福山市週休２日適用工事について

本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする週休２日適用工事の対象である。詳細については、(別紙)福山市週休２日適用工事実施要領によるものとし、週休２日達成時に、経費の補正はなく、工事成績評定の評価を行うものとする。

福山市週休２日適用工事実施要領

（趣旨）

第１条　この要領は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする週休２日適用工事の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　この要領において「週休２日適用工事」とは、次条に規定する工事をいう。

２　この要領において「週休２日」とは、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定める条件を満たすものをいう。

(1)　完全週休２日（土日）　対象期間の全ての週（原則として、土曜日から金曜日までの７日間とする。以下同じ。）ごとに現場閉所又は現場休息（以下「現場閉所等」という。）を原則として土曜日及び日曜日に指定し、１週間に２日以上の現場閉所等を行うものをいう。

(2)　月単位の週休２日　対象期間の全ての月ごとに現場閉所等の日数が、４週８休（現場閉所等の割合が28.5％（８日／28日）以上のものをいう。以下同じ。）以上であるものをいう。

３　この要領において「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて１日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。

４　この要領において「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて１日を通して現場作業が無い状態をいう。

５　この要領において「対象期間」とは、工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間（契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。）を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。

(1)　年末年始６日間及び夏季休暇３日間

(2)　工場製作のみが行われている期間

(3)　災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間

（対象工事）

第３条　週休２日適用工事の対象となる工事は、請負設計金額が５００万円以上の工事のうち、発注者が指定したものとする。

２　前項の規定にかかわらず、災害復旧工事等の緊急を要する工事及び施工に必要な実日数が短い工事（原則として、実日数が20日以内のもの）は除くものとする。

３　発注者は、第１項の工事を発注する場合は、入札公告及び特記仕様書又は現場説明書に週休２日適用工事である旨を明記するものとする。

（実施方法）

第４条　週休２日は、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定めるところにより実施す

るものとする。

(1) 完全週休２日（土日）　第２条第２項第１号に定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が７日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。

(2) 月単位の週休２日　第２条第２項第２号に定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では４週８休に満たない月又は日数が28日に満たない月においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実施できるものとする。

２　受注者は、工事着手までに監督員に対し、週休２日の実施の有無及び実施する週休２日の区分について申し出るとともに、実施する場合は、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式１）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。なお、工事着手前に週休２日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休２日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。

３　受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。

(1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合

(2) その他工程の都合上やむを得ない場合

４　受注者は、当該工事が週休２日適用工事である旨を土木工事（港湾工事を含む。）及び農林工事にあっては標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置し、建築工事にあっては施設管理者の承諾を得て公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。

５　受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月７日（７日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。

６　発注者は、受注者の週休２日を理由とする工期延長の請求については、認めないものとする。

７　受注者は、週休２日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

（工事成績評定）

第５条　完全週休２日（土日）又は月単位の週休２日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

２　週休２日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

３　請負金額が５００万円未満の工事は、工事成績評定を行わないものとする。

（提出書類の虚偽）

第６条　受注者が計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行ったときは、指名除外措置の対象となる場合がある。

（その他）

第７条　この要領に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者とが協議して定めるものとする。

附　則

この要領は、２０２４年（令和６年）４月２５日から施行する。

附　則

この要領は、２０２４年（令和６年）６月１０日から施行する。

附　則

この要領は、２０２５年（令和７年）６月１日（第４条第４項及び別記様式中農林工事に係る部分については、２０２５年（令和７年）１０月１日）から施行し、それぞれ改正後の規定の施行の日以後に積算した工事について適用する。

附　則

この要領は、２０２６年（令和８年）１０月１日から施行する。

別記様式

① 土木工事及び農林工事



② 建築工事

週休2日

適用工事

（Ａ３サイズ以上）

③ 共通

週休２日適用工事

この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休２日の確保に取り組む工事です。

発注者：福山市〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

（Ａ３サイズ以上）

掲示内容

土木工事・農林工事等については①及び③、建築工事については②及び③を基本とする。

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	70 福山市
単価適用日	00-08.10.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	08 鋼橋架設工事	
施工地域・工事場所区分	02 市街地(DID補正)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	00 補正なし	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事	1	式			Y1G03　レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0322　レベル2
ナット取替工	1	式			Y1G032202　レベル3
ナット取替工 【支承形式,下部工ブラケット取付の有無】 【支承直下部以外のはつりの有無】		本			Y1G03220201レベル4
ナット取替工 高力六角ボルト	8	本			S3030091　00 単第0 -0001　表
U-ナット M22　SS400相当品　溶融亜鉛メッキ	8	本			F0009　00
目地止水工	1	式			Y3999　レベル3
目地止水工		箇所			Y4999　レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
目地処理工 L=3.8m	1	箇所			V0002 00 単第0 -0002 表
現場塗装工	1	式			Y1G0323 レベル2
橋梁塗装工（本体部）	1	式			Y1G032301 レベル3
素地調整 【素地調整種類】		m2			Y1G03230101レベル4
塗膜除去工 塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 横断歩道橋・側道橋	306	m2			F0007 00
塗膜剥離剤 水系塗膜剥離剤 MT-BERON57相当品	168	kg			F0008 00
素地調整工（1種ケレン） ブラスト面形成動力工具使用 ブラストライカー相当品	306	m2			V0001 00 単第0 -0005 表
下塗 【塗装種別,塗装箇所,塗装回数】		m2			Y1G03230102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	304	m2			SDT00029 00 単第0 -0006 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 下塗り塗装	304	m2			SDT00029　00 単第0 -0007　表
中塗 【塗装種別,塗装箇所,塗装回数】		m2			Y1G03230103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	304	m2			SDT00029　00 単第0 -0008　表
上塗 【塗装種別,塗装箇所,塗装回数】		m2			Y1G03230104レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	304	m2			SDT00029　00 単第0 -0009　表
橋梁塗装工（高欄部）	1	式			Y1G032301　レベル3
素地調整 【素地調整種類】		m2			Y1G03230101レベル4
塗替塗装 素地調整	90	m2			SDT00029　00 単第0 -0010　表
下塗 【塗装種別,塗装箇所,塗装回数】		m2			Y1G03230102レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 下塗り塗装	88	m2			SDT00029　00 単第0 -0007　表
中塗 【塗装種別,塗装箇所,塗装回数】		m2			Y1G03230103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	88	m2			SDT00029　00 単第0 -0008　表
上塗 【塗装種別,塗装箇所,塗装回数】		m2			Y1G03230104レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	88	m2			SDT00029　00 単第0 -0009　表
構造物撤去工	1	式			Y1G0325　レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032516　レベル3
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03251602レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付 通称2t積2.9t吊 片道運搬距離5.0㎞以下(3.0㎞超)	0.1	t			SPK26040410 00 単第0 -0011　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設副産物受入費 廃プラスチック	0.1	t			F0011　00
仮設工	1	式			Y1G0326　レベル2
仮設足場工	1	式			Y1G032601　レベル3
歩道橋足場工 【施工幅員】		m3			Y1G03260101レベル4
パイプ吊足場工 桁高1.5m未満	78	m2			S3030079　00 単第0 -0012　表
飛散防護柵 設置・撤去	13	m2			V0006　00 単第0 -0015　表
剥離剤工用養生シート 中段足場養生無し 塗膜剥離回数 1回	83	m2			F0012　00
金網・支柱(立入防止柵)設置 基礎ブロック 支柱間隔2m	16	m			SPK26040252 00 単第0 -0016　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
金網・支柱(立入防止柵)撤去 基礎ブロック 支柱間隔2m	16	m			V0005 00 単第0 -0017 表
交通管理工	1	式			Y1G032621 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G03262101レベル4
交通誘導警備員B	50	人			R0369 00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					 当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

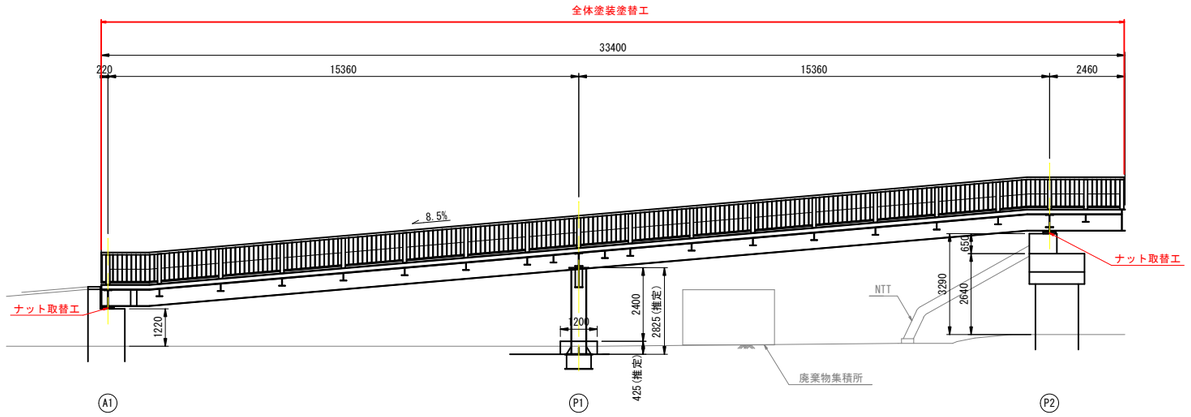


図面番号	1／11	縮　尺	S=1:10,000
工　種	横断歩道橋修繕工事		
種　別	位置図	番号	
橋梁名	沖野上新涯幹線１号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

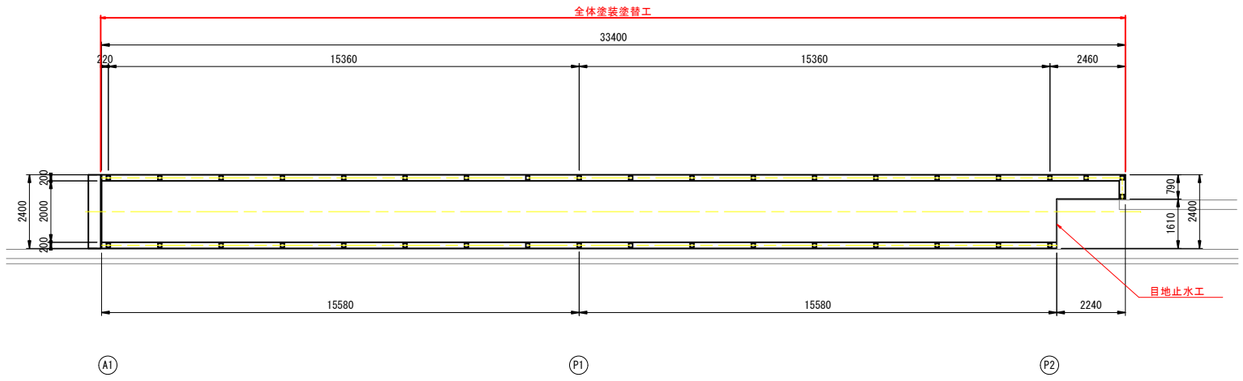
福　山　市

沖野上新涯幹線1号歩道橋 補修一般図

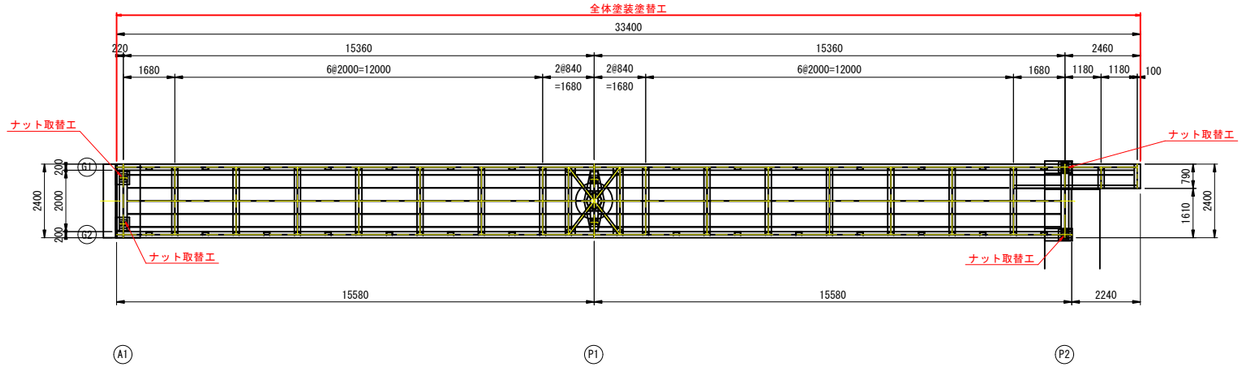
側面図　S=1:100



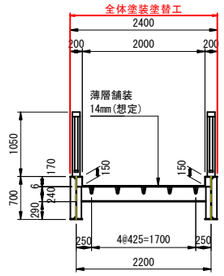
平面図　S=1:100



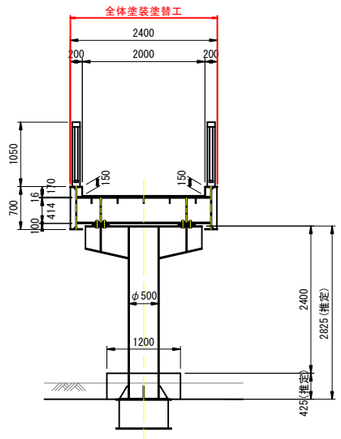
桁下面図　S=1:100



上部工断面図　S=1:50



P1橋脚正面図　S=1:50



令和８年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月　2026年(令和8年)10月

図面番号	2 / 11	縮尺	図 示
工種	橋断歩道橋修繕工事		
種別	補修一般図	番号	/
橋梁名	沖野上新涯幹線1号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

福　山　市

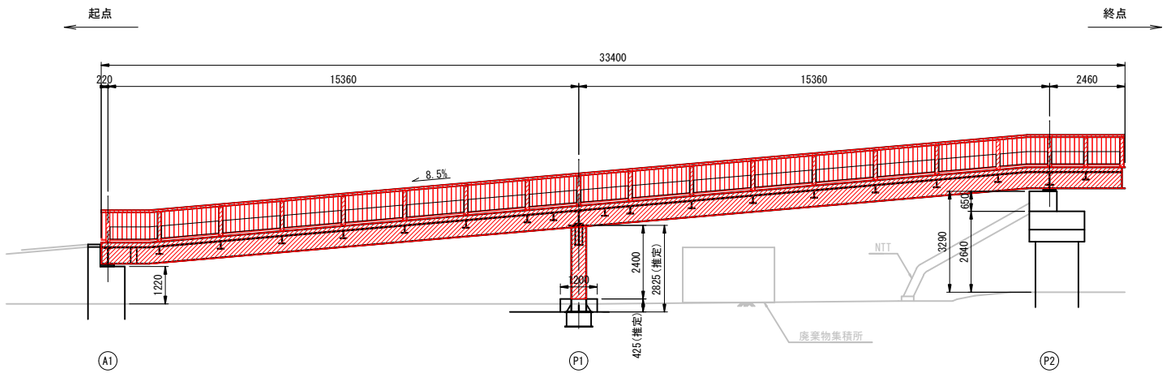
沖野上新涯幹線1号歩道橋 全体塗装塗り替え工補修図（その1）

【1、2径間】

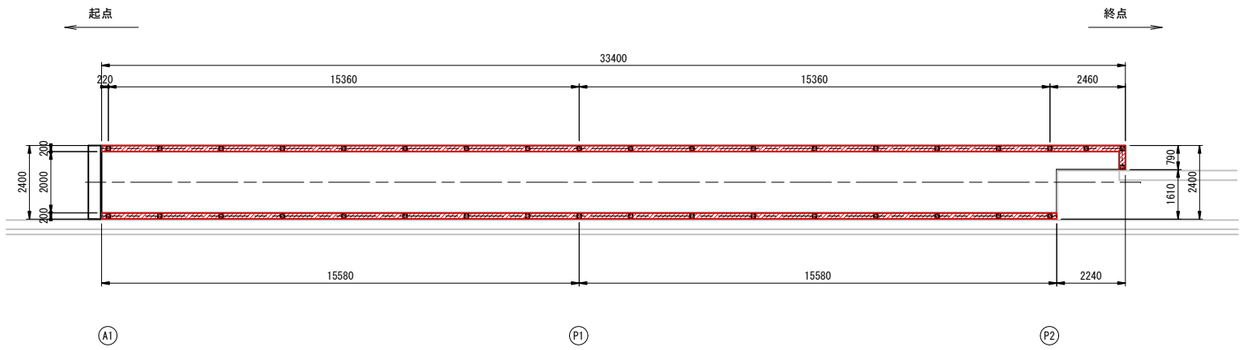
凡　例

塗装塗替え範囲

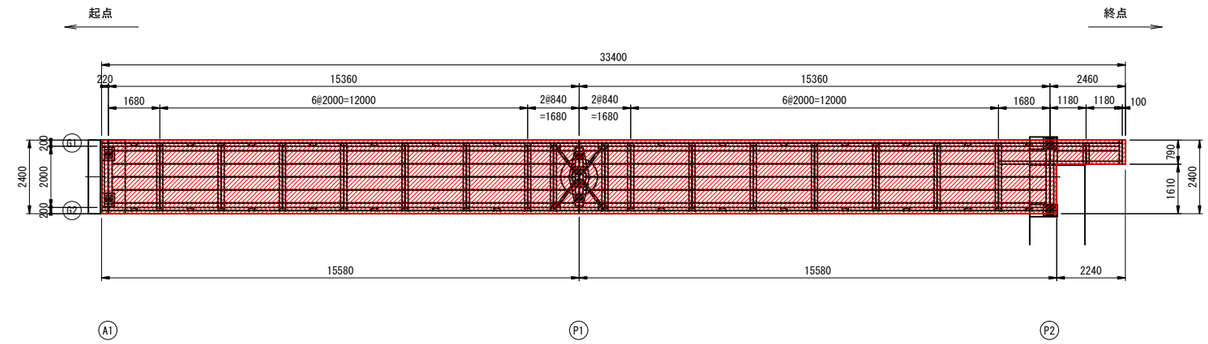
側面図　S=1:100



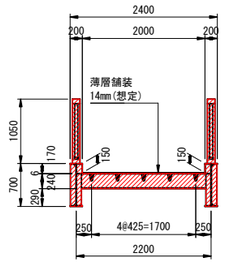
平面図　S=1:100



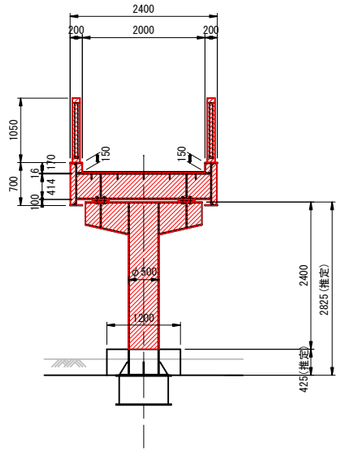
桁下面図　S=1:100



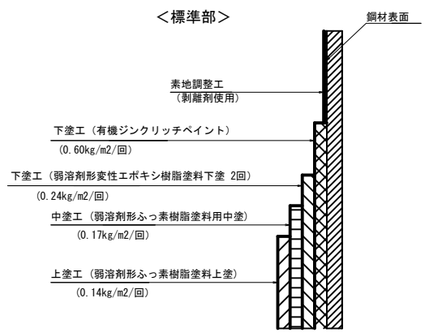
上部工断面図　S=1:50



P1橋脚正面図　S=1:50



＜標準部＞



塗装仕様Rc-Ⅰ塗装系

塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量(g/m2)	標準膜厚(μm)	塗装間隔
塗膜除去	塗膜剥離剤				
素地調整	1種ケレン（ブラスト面形成道具）				4時間以内
下　塗	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600	75	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
中　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料中塗	スプレー	170	30	1日～10日
上　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	スプレー	140	25	1日～10日

補修工法一覧

工 法	種 別
塗装塗替え工	塗膜剥離剤+Rc-Ⅰ塗装系

注記）
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
3. 作業の安全性を考慮し塗膜剥離剤で塗膜を除去した後で1種ケレンを行う計画としている。
4. 塗膜剥離剤は経済性に優れるMT-BERON(CB-180012-A) を推奨している。
5. 塗膜剥離剤は、1回で剥離しない場合は複数回実施すること。
6. 素地調整は経済性に優れ粉塵の発生が少ない1種相当を確保できるブラスト面形成動力工具ブラストライカー（KK-230052-A）としている。
7. 橋座付近の狭隘部でブラスト困難な箇所は、やむを得ず素地調整2種とすること。
8. 高欄は狭小部であり、主部材でないことを踏まえて素地調整3種とすること。
9. 本線橋側の高欄側面や主桁側面は本線橋と近接しているため、可能な範囲で塗装塗り替えを行うこと。

令和８年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月　2026年(令和8年)10月

図面番号	3 / 11	縮尺	図 示
工種	橋断歩道橋修繕工事		
種別	全体塗装塗り替えエ 補修図（その１）	番号	/
橋梁名	沖野上新涯幹線1号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

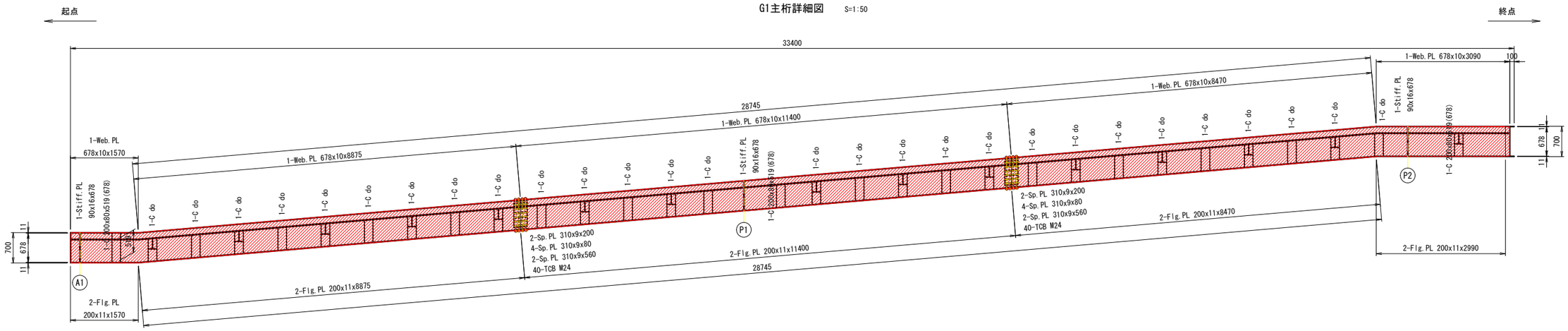
福　山　市

沖野上新涯幹線1号歩道橋 全体塗装塗り替え工補修図(その2)

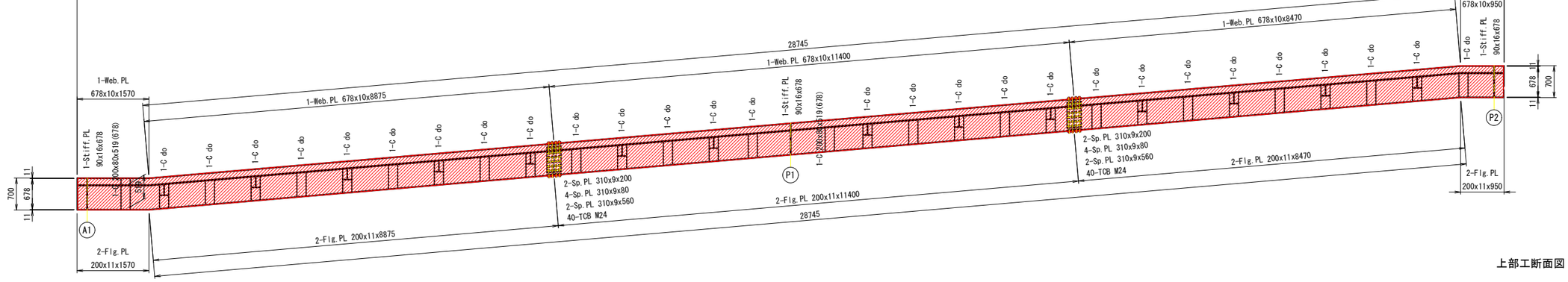
【1、2径間】

凡 例	
塗装塗替え範囲	

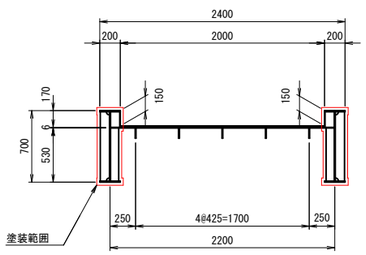
G1主桁詳細図 S=1:50



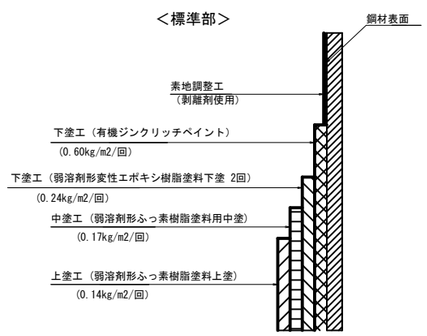
G2主桁詳細図 S=1:50



上部工断面図 S=1:30



＜標準部＞



塗装仕様Rc-Ⅰ塗装系

塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量(g/m2)	標準膜厚(μm)	塗装間隔
塗膜除去	塗膜剥離剤				
素地調整	1種ケレン(ブラスト面形成道具)				4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600	75	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
中 塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料中塗	スプレー	170	30	1日～10日
上 塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	スプレー	140	25	

補修工法一覧

工 法	種 別
塗装塗替え工	塗膜剥離剤+Rc-Ⅰ塗装系

注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
3. 作業の安全性を考慮し塗膜剥離剤で塗膜を除去した後で1種ケレンを行う計画としている。
4. 塗膜剥離剤は経済性に優れるMT-BERON(CB-180012-A) を推奨している。
5. 塗膜剥離剤は、1回で剥離しない場合は複数回実施すること。
6. 素地調整は経済性に優れ粉塵の発生が少ない1種相当を確保できるブラスト面形成動力工具ブラストライカー (KK-230052-A) としている。
7. 橋座付近の狭隘部でブラスト困難な箇所は、やむを得ず素地調整2種とすること。
8. 高欄は狭小部であり、主部材でないことを踏まえて素地調整3種とすること。
9. 本線橋側の高欄側面や主桁側面は本線橋と近接しているため、可能な範囲で塗装塗り替えを行うこと。

令和８年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月 2026年(令和8年)10月

図面番号	4 / 11	縮尺	図 示
工種	横断歩道橋修繕工事		
種別	全体塗装塗り替え工 補修図 (その２)	番号	/
橋梁名	沖野上新涯幹線1号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

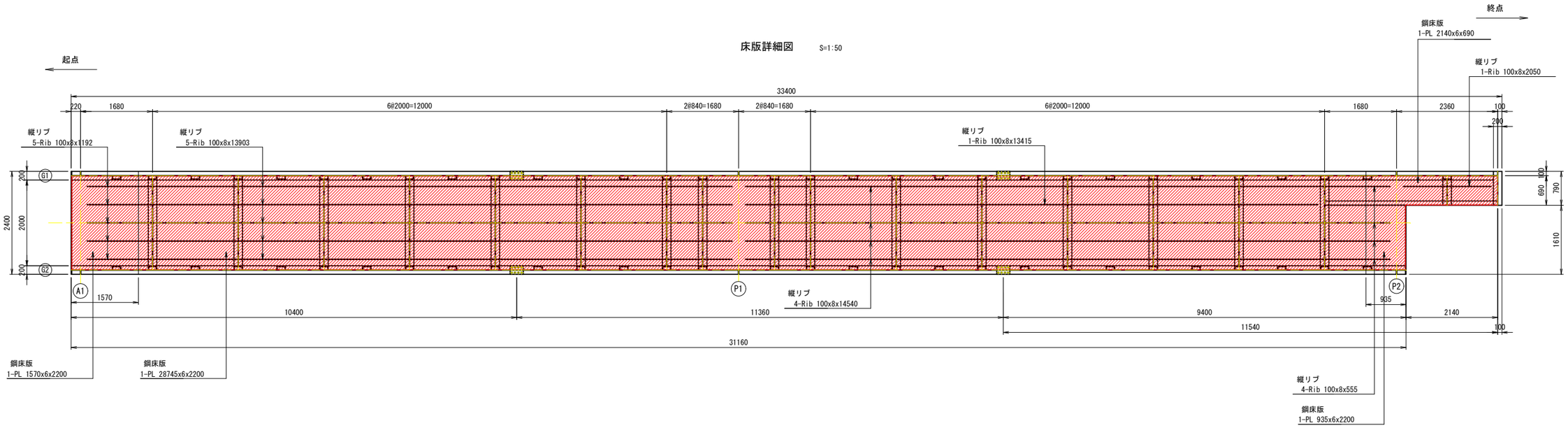
福 山 市

沖野上新涯幹線1号歩道橋 全体塗装塗り替え工補修図(その3)

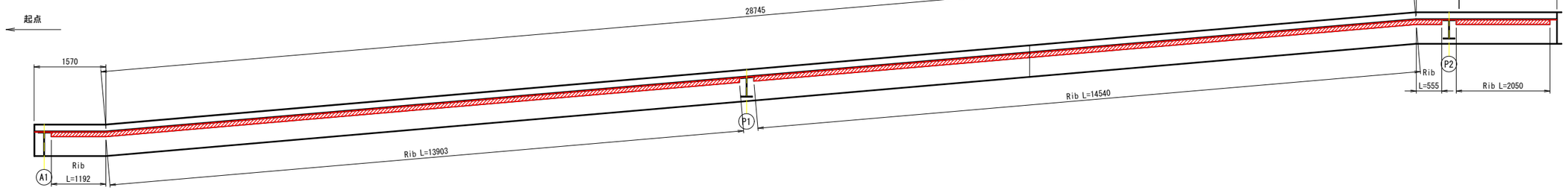
【1、2径間】

凡 例	
塗装塗替え範囲	

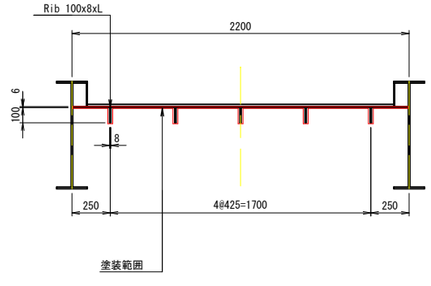
床版詳細図 S=1:50



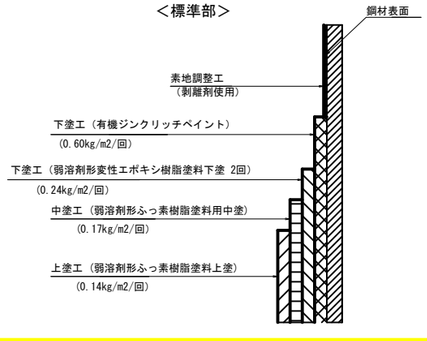
側面図 S=1:50



上部工断面図 S=1:20



＜標準部＞



塗装仕様Rc-Ⅰ塗装系

塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量(g/m2)	標準膜厚(μm)	塗装間隔
塗膜除去	塗膜剥離剤				
素地調整	1種ケレン(ブラスト面形成道具)				4時間以内
下　塗	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600	75	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
中　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料中塗	スプレー	170	30	1日～10日
上　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	スプレー	140	25	

補修工法一覧

工 法	種 別
塗装塗替え工	塗膜剥離剤+Rc-Ⅰ塗装系

注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
3. 作業の安全性を考慮し塗膜剥離剤で塗膜を除去した後で1種ケレンを行う計画としている。
4. 塗膜剥離剤は経済性に優れるMT-BERON(CB-180012-A) を推奨している。
5. 塗膜剥離剤は、1回で剥離しない場合は複数回実施すること。
6. 素地調整は経済性に優れ粉塵の発生が少ない1種相当を確保できるブラスト面形成動力工具ブラストライカー (KK-230052-A) としている。
7. 橋座付近の狭隘部でブラスト困難な箇所は、やむを得ず素地調整2種とすること。
8. 高欄は狭小部であり、主部材でないことを踏まえて素地調整3種とすること。
9. 本線橋側の高欄側面や主桁側面は本線橋と近接しているため、可能な範囲で塗装塗り替えを行うこと。

令和８年度
国
補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月　2026年(令和8年)10月

図面番号	5/11	縮尺	図 示
工種	橋断歩道橋修繕工事		
種別	全体塗装塗り替え工 補修図（その３）	番号	/
橋梁名	沖野上新涯幹線1号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

福　山　市

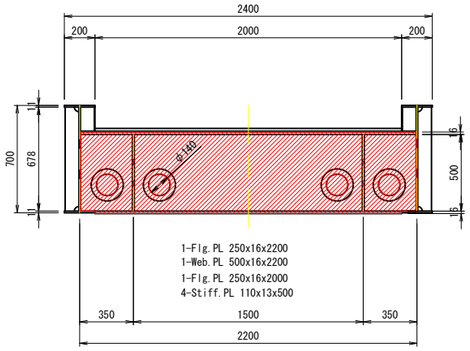
沖野上新涯幹線1号歩道橋 全体塗装塗り替え工補修図(その4)

【1、2径間】

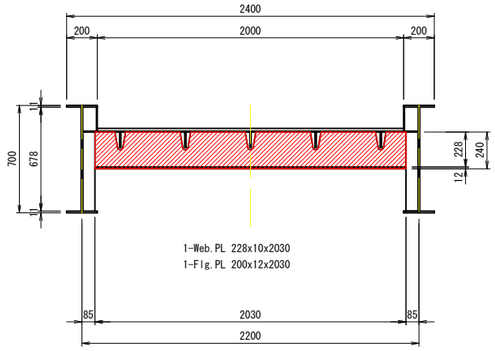
凡　例	
塗装塗替え範囲	

横桁詳細図

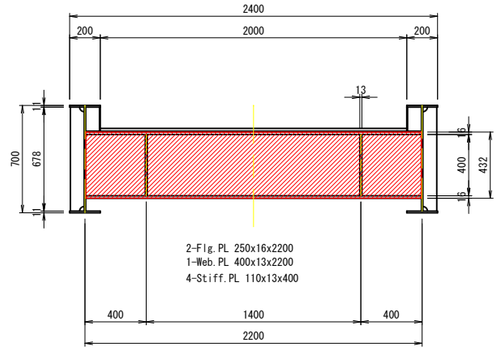
支点部横桁(A1)　S=1:20
〃 a〃



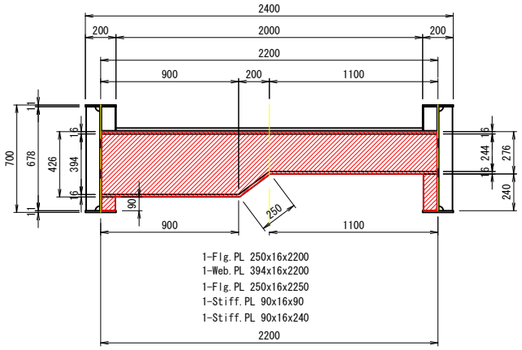
中間横桁　S=1:20
〃 b〃



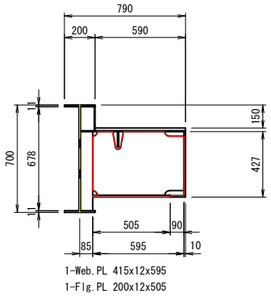
支点部横桁(P1)　S=1:20
〃 c〃



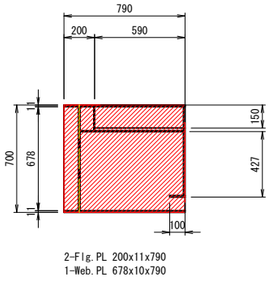
支点部横桁(P2)　S=1:20
〃 d〃



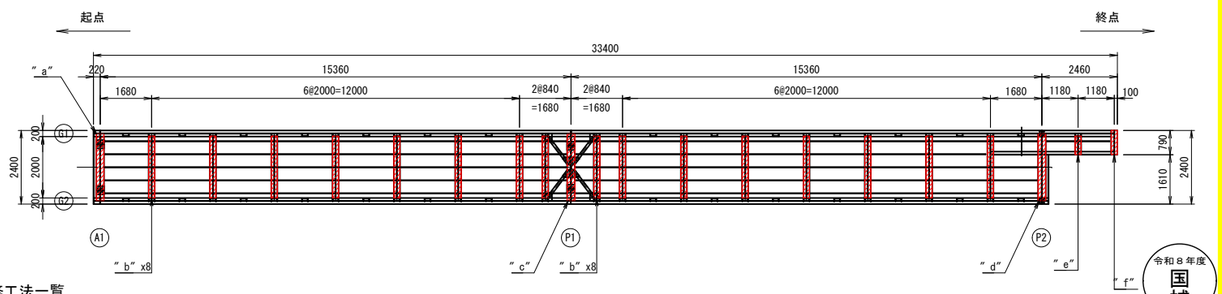
中間横桁　S=1:20
〃 e〃



端部横桁　S=1:20
〃 f〃

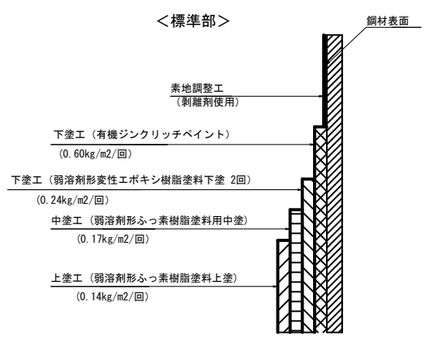


位置図　S=1:100



令和８年度
国補

＜標準部＞



塗装仕様Rc-Ⅰ塗装系

塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量(g/m2)	標準膜厚(μm)	塗装間隔
塗膜除去	塗膜剥離剤				
素地調整	1種ケレン(ブラスト面形成道具)				4時間以内
下　塗	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600	75	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
中　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料中塗	スプレー	170	30	1日～10日
上　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	スプレー	140	25	

補修工法一覧

工 法	種 別
塗装塗替え工	塗膜剥離剤+Rc-Ⅰ塗装系

注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
3. 作業の安全性を考慮し塗膜剥離剤で塗膜を除去した後で1種ケレンを行う計画としている。
4. 塗膜剥離剤は経済性に優れるMT-BERON(CB-180012-A) を推奨している。
5. 塗膜剥離剤は、1回で剥離しない場合は複数回実施すること。
6. 素地調整は経済性に優れ粉塵の発生が少ない1種相当を確保できるブラスト面形成動力工具ブラストライカー (KK-230052-A) としている。
7. 橋座付近の狭隘部でブラスト困難な箇所は、やむを得ず素地調整2種とすること。
8. 高欄は狭小部であり、主部材でないことを踏まえて素地調整3種とすること。
9. 本線橋側の高欄側面や主桁側面は本線橋と近接しているため、可能な範囲で塗装塗り替えを行うこと。

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月　2026年(令和8年)10月

図面番号	6 / 11	縮尺	図 示
工種	横断歩道橋修繕工事		
種別	全体塗装塗り替え工 補修図 (その４)	番号	/
橋梁名	沖野上新涯幹線1号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

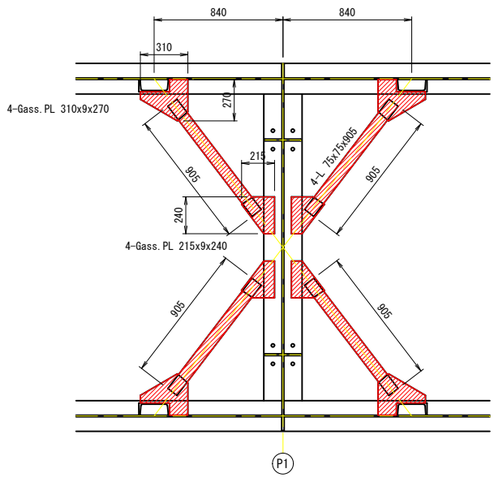
福　山　市

沖野上新涯幹線1号歩道橋 全体塗装塗り替え工補修図(その5)

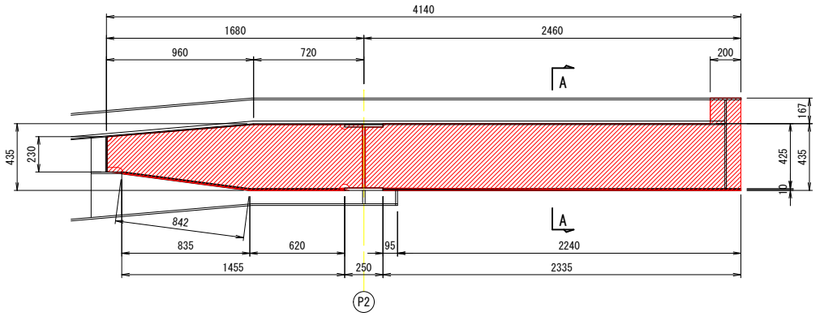
【1、2径間】

凡　例	
塗装塗替え範囲	

横構詳細図(P1)　S=1:20

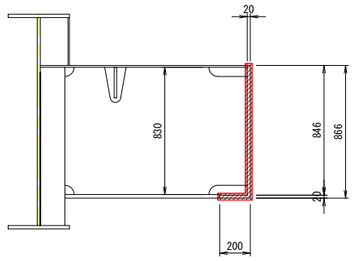


縦桁詳細図　S=1:20

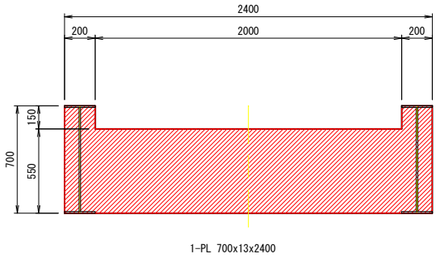


縦桁断面図　S=1:10

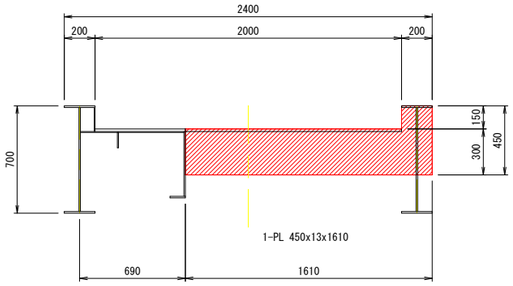
A-A



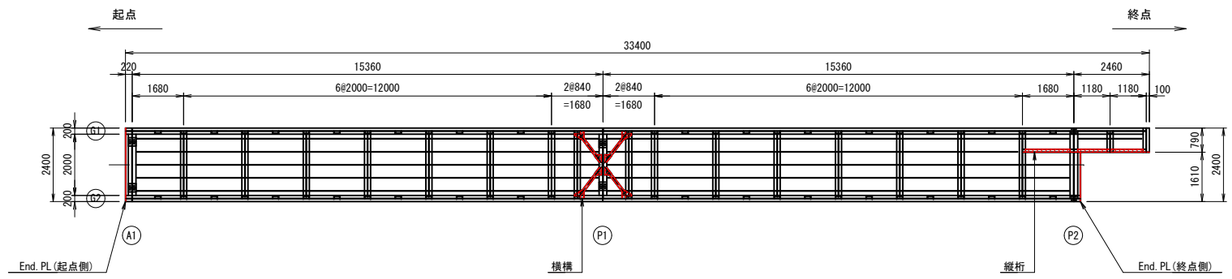
End. PL(起点側)　S=1:20



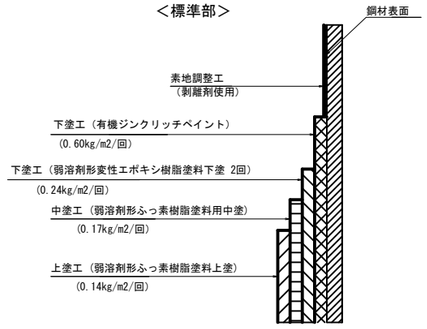
End. PL(終点側)　S=1:20



位置図　S=1:100



＜標準部＞



塗装仕様Rc-Ⅰ塗装系

塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量(g/m2)	標準膜厚(μm)	塗装間隔
塗膜除去	塗膜剥離剤				
素地調整	1種ケレン(ブラスト面形成道具)				4時間以内
下　塗	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600	75	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
中　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料中塗	スプレー	170	30	1日～10日
上　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	スプレー	140	25	

補修工法一覧

工 法	種 別
塗装塗替え工	塗膜剥離剤+Rc-Ⅰ塗装系

注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
3. 作業の安全性を考慮し塗膜剥離剤で塗膜を除去した後で1種ケレンを行う計画としている。
4. 塗膜剥離剤は経済性に優れるMT-BERON(CB-180012-A) を推奨している。
5. 塗膜剥離剤は、1回で剥離しない場合は複数回実施すること。
6. 素地調整は経済性に優れ粉塵の発生が少ない1種相当を確保できるブラスト面形成動力工具ブラストライカー (KK-230052-A) としている。
7. 橋座付近の狭隘部でブラスト困難な箇所は、やむを得ず素地調整2種とすること。
8. 高欄は狭小部であり、主部材でないことを踏まえて素地調整3種とすること。
9. 本線橋側の高欄側面や主桁側面は本線橋と近接しているため、可能な範囲で塗装塗り替えを行うこと。

令和８年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月　2026年(令和8年)10月

図面番号	7 / 11	縮尺	図 示
工種	横断歩道橋修繕工事		
種別	全体塗装塗り替え工 補修図（その５）	番号	/
橋梁名	沖野上新涯幹線1号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

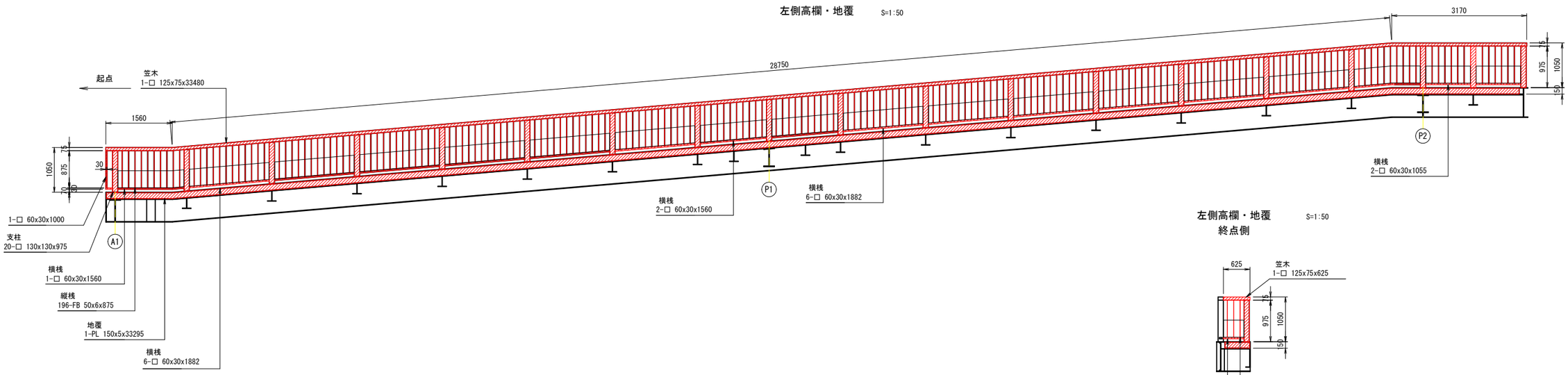
福　山　市

沖野上新涯幹線1号歩道橋 全体塗装塗り替え工補修図(その6)

【1、2径間】

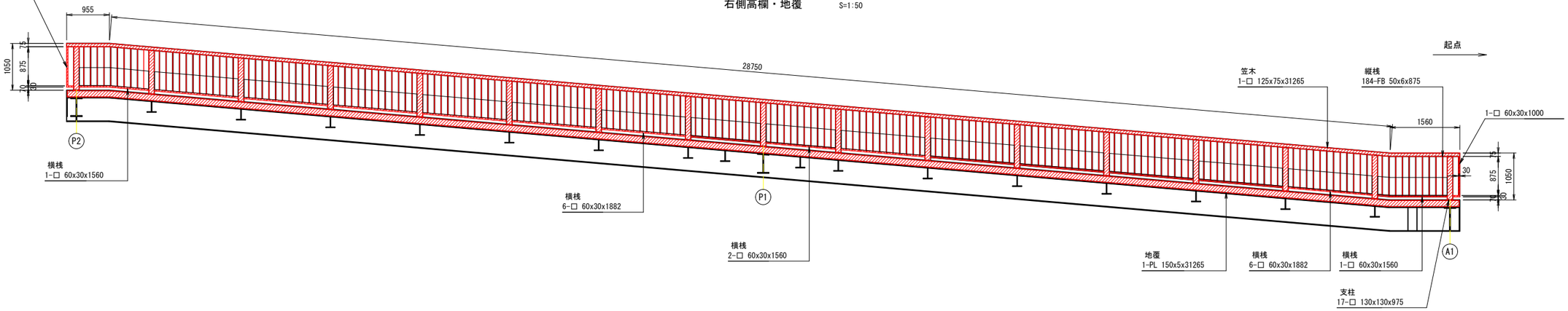
凡 例
塗装塗替え範囲

左側高欄・地覆 S=1:50

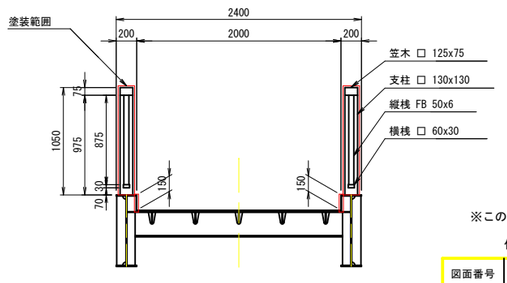


左側高欄・地覆 終点側 S=1:50

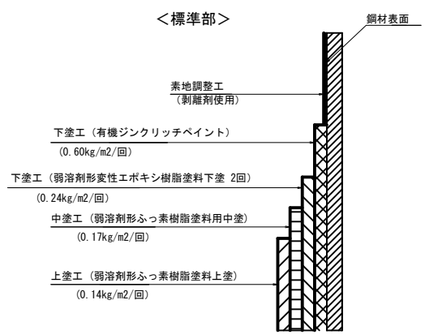
右側高欄・地覆 S=1:50



断面図 S=1:30



＜標準部＞



塗装仕様Rc-Ⅰ塗装系

塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量(g/m2)	標準膜厚(μm)	塗装間隔
塗膜除去	塗膜剥離剤				
素地調整	1種ケレン(ブラスト面形成道具)				4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600	75	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
中 塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料中塗	スプレー	170	30	1日～10日
上 塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	スプレー	140	25	

補修工法一覧

工 法	種 別
塗装塗替え工	塗膜剥離剤+Rc-Ⅰ塗装系

注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
3. 作業の安全性を考慮し塗膜剥離剤で塗膜を除去した後で1種ケレンを行う計画としている。
4. 塗膜剥離剤は経済性に優れるMT-BERON(CB-180012-A) を推奨している。
5. 塗膜剥離剤は、1回で剥離しない場合は複数回実施すること。
6. 素地調整は経済性に優れ粉塵の発生が少ない1種相当を確保できるブラスト面形成動力工具ブラストライカー (KK-230052-A) としている。
7. 橋座付近の狭隘部でブラスト困難な箇所は、やむを得ず素地調整2種とすること。
8. 高欄は狭小部であり、主部材でないことを踏まえて素地調整3種とすること。
9. 本線橋側の高欄側面や主桁側面は本線橋と近接しているため、可能な範囲で塗装塗り替えを行うこと。

令和８年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月 2026年(令和8年)9月

図面番号	8/11	縮尺	図 示
工種	横断歩道橋修繕工事		
種別	全体塗装塗り替え工 補修図 (その６)	番号	/
橋梁名	沖野上新涯幹線1号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

福 山 市

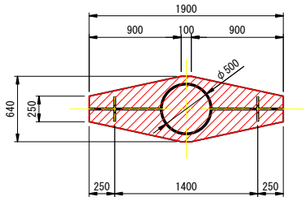
沖野上新涯幹線1号歩道橋 全体塗装塗り替え工補修図(その7)

【下部工・支承】

凡　例	
塗装塗替え範囲	

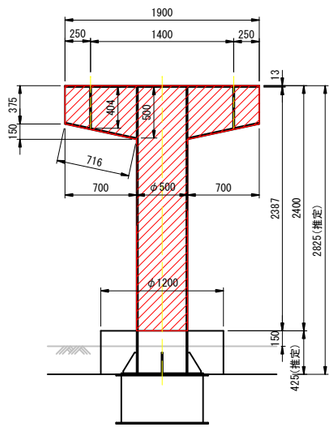
P1橋脚　S=1:30

平面図

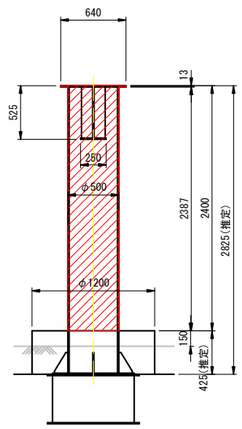


1-Top.PL 640x13x1900
2-Web.PL 500x13x700
2-Flg.PL 250x13x716
4-Stiff.PL 110x13x404
1-Pipe φ500x13x2387

正面図

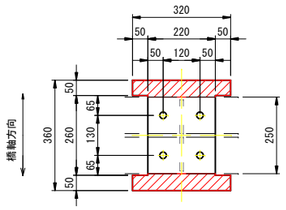


側面図

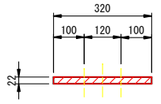


上沓(A1)　S=1:10

平面図

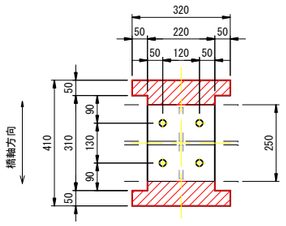


正面図

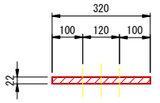


上沓(P1)　S=1:10

平面図

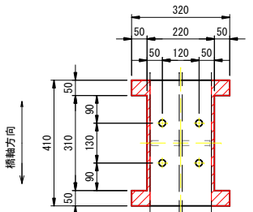


正面図

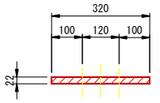


上沓(P2)　S=1:10

平面図

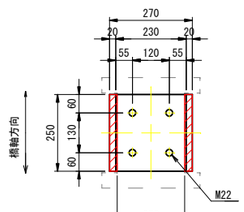


正面図

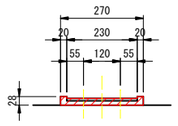


下沓　S=1:10

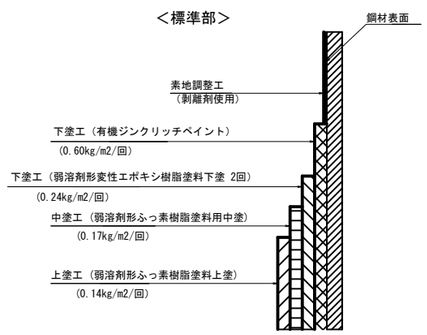
平面図



正面図



＜標準部＞



塗装仕様Rc-Ⅰ塗装系

塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量(g/m2)	標準膜厚(μm)	塗装間隔
塗膜除去	塗膜剥離剤				
素地調整	1種ケレン(ブラスト面形成道具)				4時間以内
下　塗	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600	75	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
中　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料中塗	スプレー	170	30	1日～10日
上　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	スプレー	140	25	

補修工法一覧

工　法	種　別
塗装塗替え工	塗膜剥離剤+Rc-Ⅰ塗装系

注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
3. 作業の安全性を考慮し塗膜剥離剤で塗膜を除去した後で1種ケレンを行う計画としている。
4. 塗膜剥離剤は経済性に優れるMT-BERON(CB-180012-A) を推奨している。
5. 塗膜剥離剤は、1回で剥離しない場合は複数回実施すること。
6. 素地調整は経済性に優れ粉塵の発生が少ない1種相当を確保できるブラスト面形成動力工具ブラストライカー (KK-230052-A) としている。
7. 橋座付近の狭隘部でブラスト困難な箇所は、やむを得ず素地調整2種とすること。
8. 高欄は狭小部であり、主部材でないことを踏まえて素地調整3種とすること。
9. 本線橋側の高欄側面や主桁側面は本線橋と近接しているため、可能な範囲で塗装塗り替えを行うこと。

令和８年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月　2026年(令和8年)10月

図面番号	9/11	縮尺	図 示
工種	横断歩道橋修繕工事		
種別	全体塗装塗り替え工 補修図（その７）	番号	/
橋梁名	沖野上新涯幹線1号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

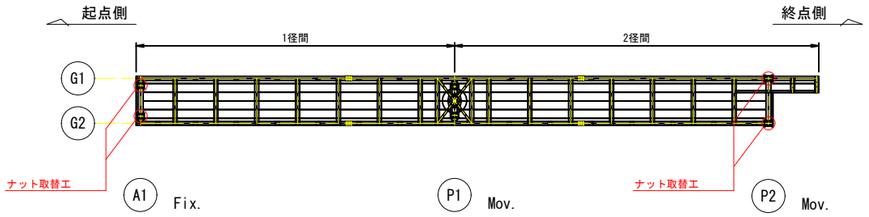
福　山　市

沖野上新涯幹線1号歩道橋 ナット取替工補修図

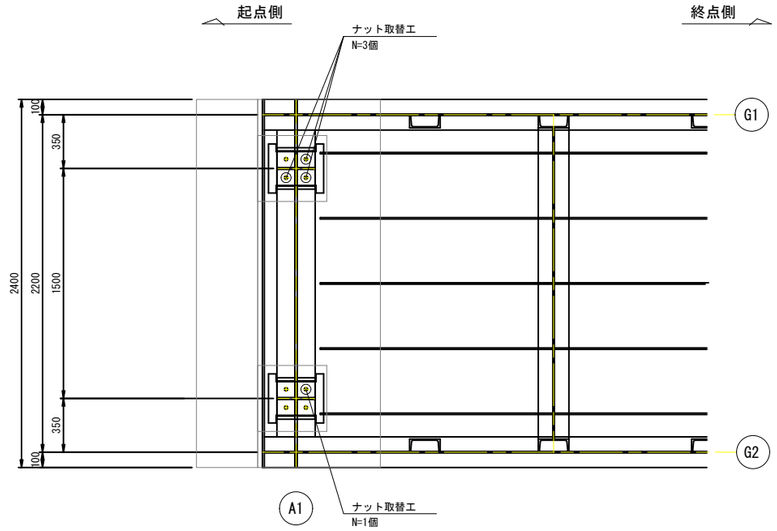
（A1橋台,P2橋脚）

S=1:20

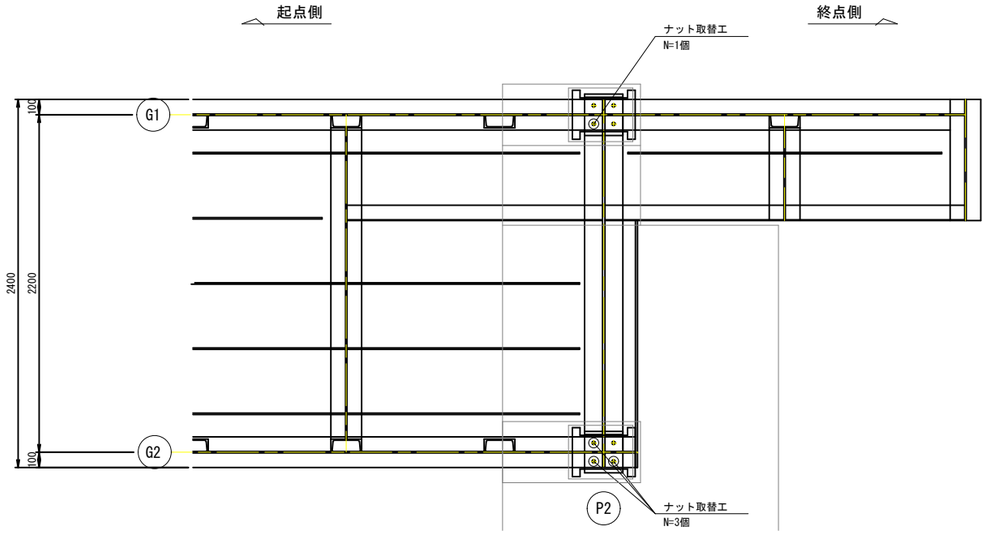
位置図　S=1:150



A1橋台平面図　S=1:20



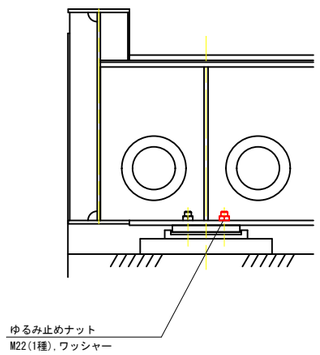
P2橋脚平面図　S=1:20



ナット取替工詳細図　S=1:10

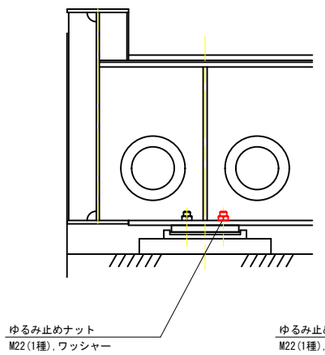
A1橋台(起点側)

G1側正面

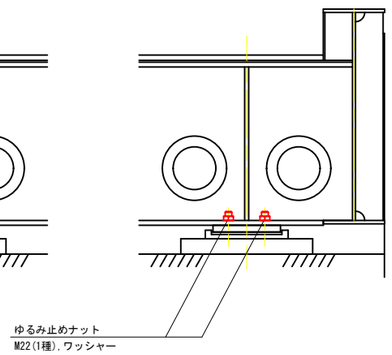


A1橋台(終点側)

G2側正面

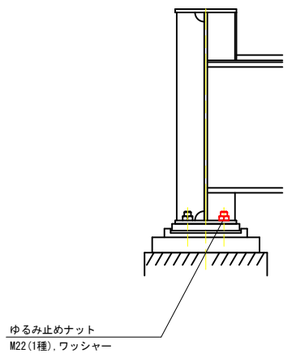


G1側正面

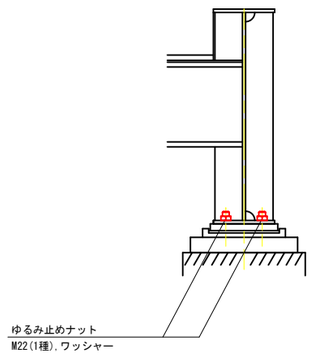


P2橋脚(起点側)

G1正面

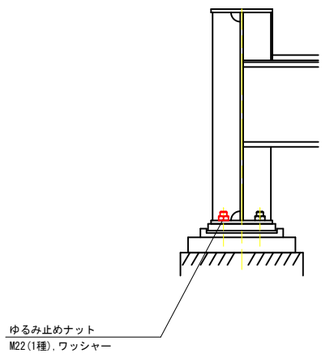


G2正面



P2橋脚(起点側)

G2正面



令和８年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月　2026年(令和8年)10月

補修工法一覧

工 法	種 別
ナット取替工	ゆるみ止めナット

注記)

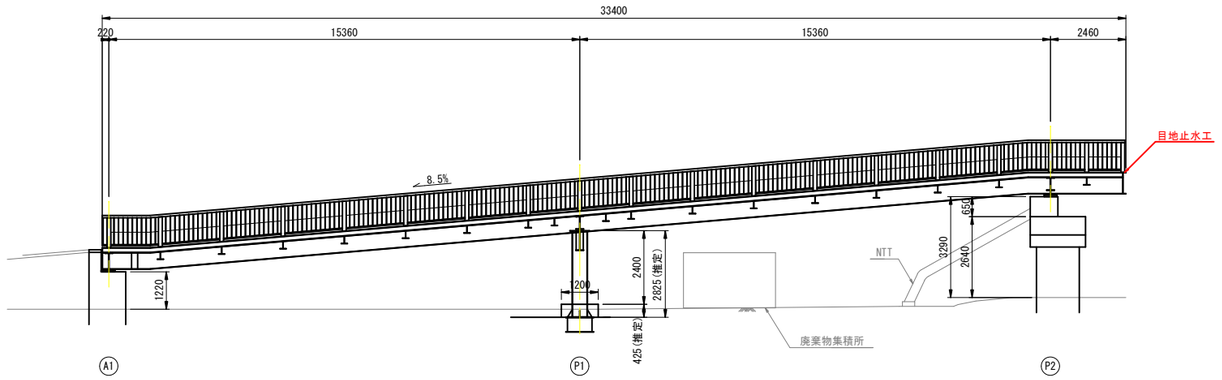
1. 本図面は、竣工図や既存資料より復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. ナットは溶融亜鉛メッキHDZ35を施すこと。

図面番号	10/11	縮尺	図 示
工種	横断歩道橋修繕工事		
種別	ナット取替工補修図	番号	/
橋梁名	沖野上新涯幹線1号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

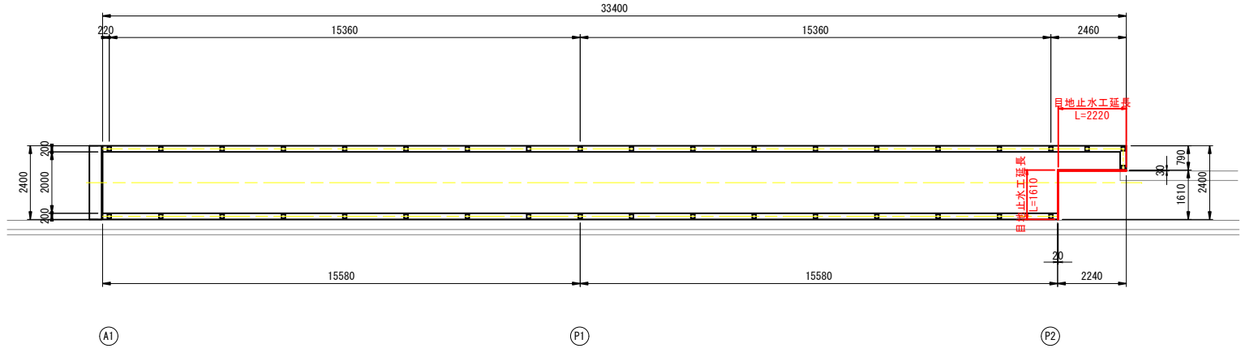
福　山　市

沖野上新涯幹線1号歩道橋 目地止水工補修図

側面図　S=1:100

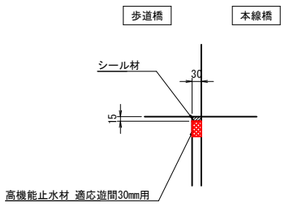


平面図　S=1:100



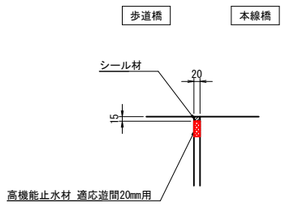
縦目地部詳細　S=1:10

【メジエイド同等品】



伸縮目地部詳細　S=1:10

【メジエイド同等品】



補修工法一覧

工 法	種 別
目地止水工	高機能止水材（メジエイド同等品）

注記）
1. 本図面は、竣工図や既存資料より復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 目地止水材は止水性・LCCに優れる「メジエイド」（HE-240001-A）を推奨している。

令和８年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月　2026年(令和8年)10月

図面番号	11/11	縮尺	図 示
工種	橋断歩道橋修繕工事		
種別	目地止水工補修図	番号	/
橋梁名	沖野上新涯幹線1号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

福　山　市

以 下 参 考 図 書

施工単価表

ナット取替工　　S3030091　　単第0 -0001　表

高力六角ボルト　　100　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	1.100	人			
橋りょう特殊工	2.900	人			
普通作業員	0.900	人			
諸雑費	2	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=2　　高力六角ボルト					

施工単価表

目地処理工　　V0002　　単第0 -0002　表

L=3.8m　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
目地処理工 高機能止水材 メジエイドM20相当品	1.6	m			単第0-0003　表
目地処理工 高機能止水材 メジエイドM30相当品	2.2	m			単第0-0004　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

目地処理工　　V0003　　単第0 -0003　表

高機能止水材 メジエイドM20相当品　　3.8　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	1	人			
普通作業員	2	人			
止水材 メジエイドM20相当品	4.0	m			
シール材 シリコーン系　プライマー含む	1.3	L			
雑品	5	%			#01
<賃>ハンドカッタ モータ式,ブレード別	1	日			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量5kVA	1	日			
電動ブレーカー ピックハンマ質量7.2kg	1	台			
<賃>ダンプトラック 積載質量2t	1	日			
諸雑費	10	%			#02
＊＊＊　合計　＊＊＊	3.8	m			

施工単価表

目地処理工　　V0003　　単第0 -0003　表

高機能止水材 メジエイドM20相当品　　3.8　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

目地処理工　　V0004　　単第0 -0004　表

高機能止水材 メジエイドM30相当品　　3.8　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	1	人			
普通作業員	2	人			
止水材 メジエイドM30相当品	4.0	m			
シール材 シリコーン系　プライマー含む	1.9	L			
雑品	5	%			#01
<賃>ハンドカッタ モータ式,ブレード別	1	日			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量5kVA	1	日			
電動ブレーカー ピックハンマ質量7.2kg	1	台			
<賃>ダンプトラック 積載質量2t	1	日			
諸雑費	10	%			#02
＊＊＊　合計　＊＊＊	3.8	m			

施工単価表

目地処理工　　V0004　　単第0 -0004　表

高機能止水材 メジエイドM30相当品　　3.8　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

素地調整工（1種ケレン）　V0001　単第0 -0005　表

ブラスト面形成動力工具使用　ブラストライカー相当品　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
橋りょう塗装工	2.0	人			
普通作業員	1.0	人			
ブラストライカー	0.2	台			
替刃	0.8	個			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量20kVA 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.1	日			
諸雑費	10	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

塗替塗装　　SDT00029　　単第0 -0006　表

下塗り塗装　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 下塗り_有機ジングリッチペイント(1層) スプレー,時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 D=4　有機ジンクリッチペイント(1層) H=3　横断歩道橋・側道橋			B=4　下塗り塗装 F=2　スプレー I=1　時間的制約なし		

施工単価表

塗替塗装　　SDT00029　　単第0 -0007　表

下塗り塗装　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 下塗り_弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層) スプレー,時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 D=2　弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層) H=3　横断歩道橋・側道橋			B=4　下塗り塗装 F=2　スプレー I=1　時間的制約なし		

施工単価表

塗替塗装　　SDT00029　　単第0 -0008　表

中塗り塗装　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 中塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料_淡彩 スプレー,時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 E=2　弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 G=2　淡彩 I=1　時間的制約なし			B=5　中塗り塗装 F=2　スプレー H=3　横断歩道橋・側道橋		

施工単価表

塗替塗装　　SDT00029　　単第0 -0009　表

上塗り塗装　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 上塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料_淡彩 スプレー,時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 E=3　弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 G=2　淡彩			B=6　上塗り塗装 F=2　スプレー H=3　横断歩道橋・側道橋		
I=1　時間的制約なし					

施工単価表

塗替塗装　　SDT00029　　単第0 -0010　表

素地調整　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 素地調整_3種ケレンA 時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 C=3　3種ケレンA(動力工具と手工具の併用) I=1　時間的制約なし			B=2　素地調整 H=3　横断歩道橋・側道橋		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬　　SPK26040410　　単第0 -0011　表

クレーン装置付 通称2t積2.9t吊　　片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)　　1　t　当り

機械構成比: 13.14%　労務構成比: 83.98%　材料構成比: 2.88%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,877.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 通称2t積級吊能力2.9t	13.14%		トラック クレーン装置付 通称2t積級 吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.42%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　クレーン装置付 通称2t積2.9t吊 C=5　片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)			B=2　DID区間有り		

施工単価表

パイプ吊足場工　　S3030079　　単第0 -0012　表

桁高1.5m未満　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.235	人			
足場賃料	1.000	m2			
機-28_トラック(クレーン装置付)運転 通称4～4.5t積吊能力2.9t吊	0.032	日			単第0-0013　表
機-28_高所作業車運転 T架装・伸縮ブーム・PF型_最大地上高12.0m	0.019	日			単第0-0014　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=2　桁高1.5m未満 C=8.18　主要部材の日当り賃料(円) E=2　高所作業車			B=263　主要部材の基本料(円) D=1.2　足場を架設している供用月数(月)		

施工単価表

機-28_トラック(クレーン装置付)運転　　S9000031　　単第0 -0013　表

通称4～4.5t積吊能力2.9t吊　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	23.00	L			
<賃>トラック(クレーン装置付) 積載質量4t(2.9t吊)	1.32	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　通称4～4.5t積吊能力2.9t吊 C=1　運転労務数量（人/日）			B=23　軽油消費量（L/日） D=1.32　機械賃料数量（供用日/日）		

施工単価表

機-28_高所作業車運転　　S9349　　単第0 -0014　表

T架装・伸縮ブーム・PF型_最大地上高12.0m　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	19.00	L			
<賃>高所作業車(トラック架装リフト) ブーム型(伸縮ブーム・プラットフォーム型) 作業床高10～12m以下,幅広デッキ旋回タイプ	1.31	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=9　T架装・伸縮ブーム・PF型_最大地上高12.0m C=19　軽油消費量 (L/日)			B=1　運転労務数量 (人/日) D=1.31　機械賃料数量 (供用日/日)		

施工単価表

飛散防護柵　　V0006　　単第0 -0015　表

設置・撤去　　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.2	人			
普通作業員	5.0	人			
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	0.6	日			
仮囲い仮設材費用 仮設材供用月数　1.2月	100	m2			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

金網・支柱(立入防止柵)設置　　SPK26040252　　単第0 -0016　表

基礎ブロック　　支柱間隔2m　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,677.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	90.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.81%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　基礎ブロック D=1　-(全ての費用)			C=2　支柱間隔2m		

施工単価表

金網・支柱(立入防止柵)撤去　V0005　単第0 -0017　表

基礎ブロック　支柱間隔2m　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.06	人			
土木一般世話役	0.005	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
横断歩道橋修繕工事（沖野上新涯幹線1号歩道橋）								
	橋梁補修工							
		ナット取替工						
			ナット取替工	高力六角ボルト	本	8	8	
			U-ナット	M22　SS400相当品　溶融亜鉛メッキ	本	8	8	
		目地止水工						
			目地処理工	L=3.8m	箇所	1	1	
			止水材	高機能タイプ(適応遊間20mm用)	m	1.6	1.6	
			止水材	高機能タイプ(適応遊間30mm用)	m	2.2	2.2	
			シール材	シリコーン系	ﾘｯﾄﾙ	1.6	1.6	
	現場塗装工							
		橋梁塗装工						
		【本体部】	剥離塗膜材塗布・塗膜除去	横断歩道橋・側道橋　時間的制約無	m2	305.8	306	
			塗膜剥離材	既設塗膜厚500μm以下、0.5kg/m2、ロス率10% MT-BERON57相当品	kg	168.2	168	
			素地調整工	1種ケレン　ブラスト面形成動力工具使用 ブラストライカー相当品	m2	305.8	306	
			塗替塗装下塗り	スプレー、有機ジンクリッチペイント600g/m2、時間的制約無	m2	304.4	304	
			塗替塗装下塗り	スプレー、弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗240g/m2×2層、時間的制約無	m2	304.4	304	
			塗替塗装中塗り	スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗170g/m2、淡彩、時間的制約無	m2	304.4	304	
			塗替塗装上塗り	スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗140g/m2、淡彩、時間的制約無	m2	304.4	304	
		【防護柵部】	素地調整工	3種ケレンA	m2	89.8	90	
			塗替塗装下塗り	スプレー、弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗240g/m2×2層、時間的制約無	m2	88.4	88	
			塗替塗装中塗り	スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗170g/m2、淡彩、時間的制約無	m2	88.4	88	
			塗替塗装上塗り	スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗140g/m2、淡彩、時間的制約無	m2	88.4	88	
	構造物撤去工							
		運搬処理工						
			現場発生品及び支給品運搬	クレーン装置付 通称2t積2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)	t	0.1	0.1	
			建設副産物受入費	廃プラスチック	t	0.1	0.1	
	仮設工							
		仮設足場工						
			パイプ吊足場工	桁高1.5m未満、片側朝顔、シート張	m2	78.3	78	
			飛散防護柵	雪寒仮囲い設置撤去工　Pタイプ	m2	13.1	13	
			剥離剤工用養生シート	中段足場養生無し　塗膜剥離回数1回	m2	82.7	83	
			防護柵撤去工	立入防止柵工　金網	m2	16.0	16	
			防護柵設置工	立入防止柵工　金網	m2	16.0	16	

沖野上新涯幹線1号歩道橋　ナット取替工数量総括表

名称	規格・寸法	単位	ナット取替工		合計	摘要
			A1橋台	P2橋脚		
ナット取替工	U-ナット M22	本	4	4	8	溶融亜鉛メッキ HDZ35

沖野上新涯幹線1号歩道橋　ナット取替工数量計算書

その他の数量計算

A1橋台

1.ナット取替工

ゆるみ止めナット, M22

Ｎ＝　3　+　1　　＝　　4　　本

P2橋脚

1.ナット取替工

ゆるみ止めナット, M22

Ｎ＝　1　+　3　　＝　　4　　本

沖野上新涯幹線１号歩道橋　目地止水工数量総括表					
工　種	名　称	規　　格	単位	数　量	摘　要
目地止水工					
	目地止水工	施工延長	m	3.8	
	止水材	高機能タイプ(適応遊間20mm用)	m	1.6	メジエイド同等品
	止水材	高機能タイプ(適応遊間30mm用)	m	2.2	メジエイド同等品
	シール材	シリコーン系	ﾘｯﾄﾙ	1.6	

目地止水工 数量計算書

1.目地止水工

施工延長

伸縮目地	L= 1.61+2.22		＝	3.83 m

2.止水材

メジエイド同等品

高機能タイプ（適応遊間20mm用）

伸縮目地	L= 1.610		＝	1.61 m

高機能タイプ（適応遊間30mm用）

伸縮目地	L= 2.220		＝	2.22 m

3.シール材

シリコーン系

伸縮目地（適応遊間20mm用）		V= 0.020x0.015x1000x1.61x1.1	＝	0.53 ﾘｯﾄﾙ
伸縮目地（適応遊間30mm用）		V= 0.030x0.015x1000x2.22x1.1	＝	1.10 ﾘｯﾄﾙ

※ロス率10%

沖野上新涯幹線1号歩道橋　全体塗装塗り替え工数量総括表

工　種	名　称	規　　格	単位	数　量	摘　要
全体塗装塗替工					
	塗膜剥離材塗布工	時間的制約無	m2	305.8	
	塗膜剥離材	既設塗膜厚500μm以下、0.5kg/m2、ロス率10%	kg	168.2	MT-BERON57同等品
	素地調整工	素地調整1種	m2	305.8	
	塗装塗替下塗り	スプレー、有機ジンクリッチペイント600g/m2、時間的制約無	m2	304.4	
	塗装塗替下塗り	スプレー、弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗240g/m2×2層、時間的制約無	m2	304.4	
	塗装塗替中塗り	スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗170g/m2、淡彩、時間的制約無	m2	304.4	
	塗装塗替上塗り	スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗140g/m2、淡彩、時間的制約無	m2	304.4	
防護柵塗装塗替工					
	素地調整工	3種ケレンA	m2	89.8	
	塗装塗替下塗り	スプレー、弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗240g/m2×2層、時間的制約無	m2	88.4	
	塗装塗替中塗り	スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗170g/m2、淡彩、時間的制約無	m2	88.4	
	塗装塗替上塗り	スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗140g/m2、淡彩、時間的制約無	m2	88.4	

沖野上新涯幹線1号歩道橋　全体塗装塗り替え工　数量計算書

本体部

G1-web	(1.570+28.745+3.090)x0.700x2	＝	46.77 m2
G1支点部-stf	(0.090x0.678x2)x3	＝	0.37 m2
G1中間垂直材-溝型鋼	31x(0.080x0.519x2)	＝	2.57 m2
G1-下Flg	(1.570+28.745+2.990)x0.200x2	＝	13.32 m2
支承部控除	0.200x-0.410	＝	-0.08 m2
G1-上Flg	(1.570+28.745+2.990)x0.200x2	＝	13.32 m2
G2-web	(1.570+28.745+0.950)x0.700x2	＝	43.77 m2
G2支点部-stf	(0.090x0.678x2)x3	＝	0.37 m2
G2中間垂直材-溝型鋼	30x(0.080x0.519x2)	＝	2.49 m2
G2-下Flg	(1.570+28.745+0.950)x0.200x2	＝	12.51 m2
支承部控除	0.200x-0.410	＝	-0.08 m2
G2-上Flg	(1.570+28.745+0.950)x0.200x2	＝	12.51 m2
鋼床版	(1.570+28.745+0.935)x2.200+2.140x0.690	＝	70.23 m2
鋼床版-Rib	((1.192+13.903)x5+(14.540+0.555)x4+13.415+2.050)x0.100x2	＝	30.26 m2
横桁(A1)-上Flg	0.250x2.200	＝	0.55 m2
横桁(A1)-web	0.500x2.200	＝	1.10 m2
添架管用穴控除	πx0.140^2/4x-8	＝	-0.12 m2
横桁(A1)-下Flg	0.250x2.000x2	＝	1.00 m2
支承部控除	0.220x-0.250x2	＝	-0.11 m2
横桁(A1)-stf	(0.110x0.500)x2x2	＝	0.22 m2
中間横桁-web	0.240x2.030x2x16	＝	15.59 m2
中間横桁-下Flg	0.200x2.030x2x16	＝	12.99 m2
横桁(P1)-上Flg	0.250x2.200	＝	0.55 m2
横桁(P1)-web	0.432x2.200x2	＝	1.90 m2
横桁(P1)-下Flg	0.250x2.200x2	＝	1.10 m2
支承部控除	0.220x-0.250x2	＝	-0.11 m2
横桁(P1)-stf	(0.110x0.400)x2x4	＝	0.35 m2
横桁(P2)-上Flg	0.250x2.200	＝	0.55 m2
横桁(P2)-web	((0.426x0.900)+((0.426+0.276)x0.200/2)+(0.276x1.100)+(0.	＝	1.05 m2
横桁(P2)-下Flg	0.250x2.250x2	＝	1.13 m2
横桁(P2)-stf	(0.090+0.240)x0.090x2	＝	0.06 m2
中間横桁-web	0.427x0.595x2	＝	0.51 m2
中間横桁-下Flg	0.200x0.505x2	＝	0.20 m2
端部横桁-上Flg	0.200x0.790x2	＝	0.32 m2
端部横桁-web	0.790x0.700x2	＝	1.11 m2
端部横桁-下Flg	0.200x0.790x2	＝	0.32 m2

沖野上新涯幹線1号歩道橋　全体塗装塗り替え工　数量計算書

横構(P1)-L形鋼	(0.075x0.905x4)x4	＝	1.09 m2
横構(P1)-Gass	(0.310x0.270x2)x4+(0.215x0.240x2)x4	＝	1.08 m2
縦桁-web	((0.230+0.435)x0.960/2x2)+(0.435x0.720x2)+(0.435x2.460x2)+(0.167x0.200)	＝	3.44 m2
狭隘部控除	0.435x-2.240	＝	-0.97 m2
縦桁-下Flg	((0.842+0.620+2.335)x0.100x2)	＝	0.76 m2
End.PL-起点側	(0.550x2.400)+(0.150x0.200x2)	＝	1.38 m2
End.PL-終点側	(0.300x1.610)+(0.150x0.200)	＝	0.51 m2

橋脚(P1)

Top	(0.640x1.900)x2	＝	2.43 m2
支承部控除	0.250x-0.220x2	＝	-0.11 m2
柱部控除	πx-0.500^2/4	＝	0.20 m2
梁部-web	(0.500x0.700)x2x2	＝	1.40 m2
梁部-下Flg	(0.250x0.716)x2x2	＝	0.72 m2
梁部-stf	(0.110x0.404)x2x4	＝	0.36 m2
柱部-poie	2xπx0.250x2.387	＝	3.75 m2

本体部支承(A1)

上沓上面	(0.320x0.360)x2	＝	0.23 m2
横桁設置部控除	(-0.220x0.250)x2	＝	-0.11 m2
上沓下面	(0.320x0.360)x2	＝	0.23 m2
下沓設置部控除	(-0.220x0.250)x2	＝	-0.11 m2
側面	((0.022x0.320+0.022x0.360)x2)x2	＝	0.06 m2
狭隘部控除	((0.022x-0.320)x2)	＝	-0.01 m2
下沓上面	(0.250x0.270)x2	＝	0.14 m2
上沓設置部控除	(-0.220x0.250)x2	＝	-0.11 m2
側面	((0.028x0.270+0.028x0.250)x2)x2	＝	0.06 m2
狭隘部控除	((0.028x-0.270)x2)	＝	-0.02 m2

本体部支承(P1,P2)

上沓上面	(0.320x0.410)x2x2	＝	0.52 m2
P1横桁設置部控除	(-0.220x0.250)x2	＝	-0.11 m2
P2主桁設置部控除	(-0.200x0.410)x2	＝	-0.16 m2
上沓下面	(0.320x0.410)x2x2	＝	0.52 m2
下沓設置部控除	(-0.220x0.250)x2x2	＝	-0.22 m2
側面	((0.022x0.320+0.022x0.410)x2)x2x2	＝	0.13 m2
下沓上面	(0.250x0.270)x2x2	＝	0.27 m2
上沓設置部控除	(-0.220x0.250)x2x2	＝	-0.22 m2
側面	((0.028x0.270+0.028x0.250)x2)x2x2	＝	0.12 m2
	合計	＝	305.8 m2

沖野上新涯幹線1号歩道橋　全体塗装塗り替え工　数量計算書

時間的制約無

A= 305.8 ＝ 305.8 m2

既設塗膜厚500μm以下、水性剥離剤、0.5kg/m2、ロス率10%

W= 305.8 x 0.5 x 1.10 ＝ 168.2 kg

素地調整1種、時間的制約無

A= 305.8 ＝ 305.8 m2

スプレー、有機ジンクリッチペイント600g/m2、時間的制約無
※FRP設置範囲を除く

A= 305.8 − 1.4 (FRP設置) ＝ 304.4 m2

スプレー、弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗240g/m2×2層、時間的制約無
※FRP設置範囲を除く

A= 305.8 − 1.4 (FRP設置) ＝ 304.4 m2

スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗170g/m2、淡彩、時間的制約無
※FRP設置範囲を除く

A= 305.8 − 1.4 (FRP設置) ＝ 304.4 m2

スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗140g/m2、淡彩、時間的制約無
※FRP設置範囲を除く

A= 305.8 − 1.4 (FRP設置) ＝ 304.4 m2

沖野上新涯幹線1号歩道橋　全体塗装塗り替え工　数量計算書

防護柵部

左高欄-笠木	(1.560+28.750+3.170+0.625)x(0.125+0.075)x2	＝	13.64 m2
左高欄-支柱	20x(0.130x0.975x4)	＝	10.14 m2
左高欄-縦桟	(196+3)x(0.050x0.875x2)	＝	17.41 m2
左高欄-横桟	((1+2+1)x(0.060+0.030)x2x1.560)+((6+6)x(0.060+0.030)x2x1.882)+(2x(0.060+0.030)x2x1.055)+((0.060+0.030)x2x0.485)	＝	5.66 m2
左高欄-end	((0.060+0.030)x2)x1.000	＝	0.18 m2
右高欄-笠木	(1.560+28.750+0.955)x(0.125+0.075)x2	＝	12.51 m2
右高欄-支柱	17x(0.130x0.975x4)	＝	8.62 m2
右高欄-縦桟	184x(0.050x0.875x2)	＝	16.10 m2
右高欄-横桟	((1+2+1)x(0.060+0.030)x1.560x2)+((6+6)x(0.060+0.030)x1.882x2)	＝	5.19 m2
右高欄-end	((0.060+0.030)x2)x1.000x2	＝	0.36 m2
	合計	＝	89.8 m2

沖野上新涯幹線1号歩道橋　全体塗装塗り替え工　数量計算書

3種ケレンA、時間的制約無

A= 89.8 ＝ 89.8 m2

スプレー、弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗240g/m2×2層、時間的制約無
※FRP設置範囲を除く

A= 89.8 － 1.4 (FRP設置) ＝ 88.4 m2

スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗170g/m2、淡彩、時間的制約無
※FRP設置範囲を除く

A= 89.8 － 1.4 (FRP設置) ＝ 88.4 m2

スプレー、弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗140g/m2、淡彩、時間的制約無
※FRP設置範囲を除く

A= 89.8 － 1.4 (FRP設置) ＝ 88.4 m2

沖野上新涯幹線1号歩道橋　仮設工数量総括表					
工　種	名　称	規　　格	単位		摘　要
仮設工					
	パイプ吊足場	桁高1.5m未満、片側朝顔、シート張	m2	78.3	
	飛散防護柵	雪寒仮囲い設置撤去工 Pタイプとして計上	m2	13.1	
	剥離剤工用養生シート	中段足場養生無し	m2	82.7	
	防護柵撤去工 （立入防止柵工）	金網	m	16.0	
	防護柵設置工 （立入防止柵工）	金網	m	16.0	

仮設工　数量計算書

仮設工

1.パイプ吊足場

桁高1.5m未満、片側朝顔、シート張

A　=　32.630x2.400　＝　78.3 m2

A　＝　78.3 m2

2.飛散防護工

雪寒仮囲い設置撤去工、Pタイプとして計上

橋脚補修時

A　=　1.554x2.100x4　＝　13.1 m2

A　＝　13.1 m2

3.剝離剤工用養生シート

パイプ吊足場

A　=　32.630x2.400　＝　78.3 m2

橋脚補修時

A　=　2.100x2.100　＝　4.4 m2

A　＝　82.7 m2

4.防護柵設置工

防護柵設置工(立入防止柵)　金網

L　=　16.0　＝　16.0 m

L　＝　16.0 m

5.防護柵撤去工

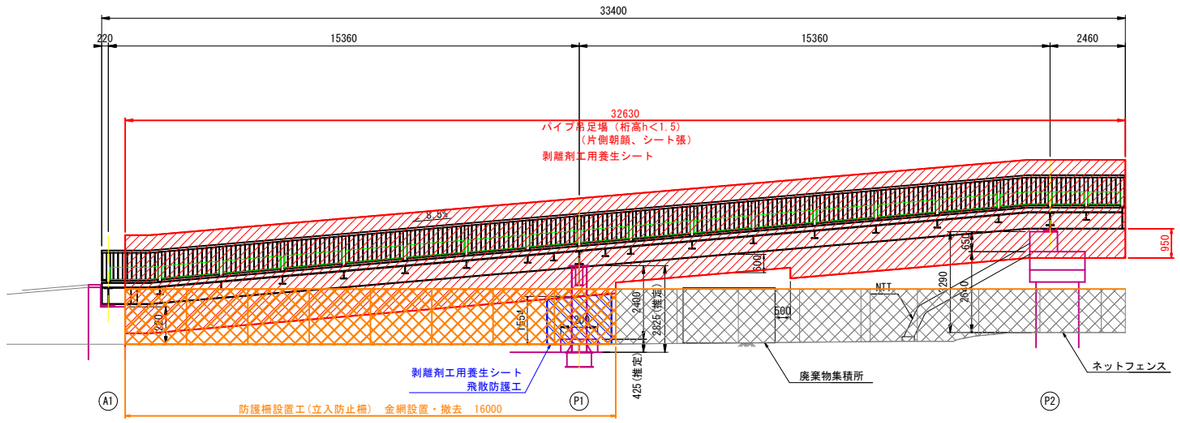
防護柵撤去工(立入防止柵)　金網

L　=　16.0　＝　16.0 m

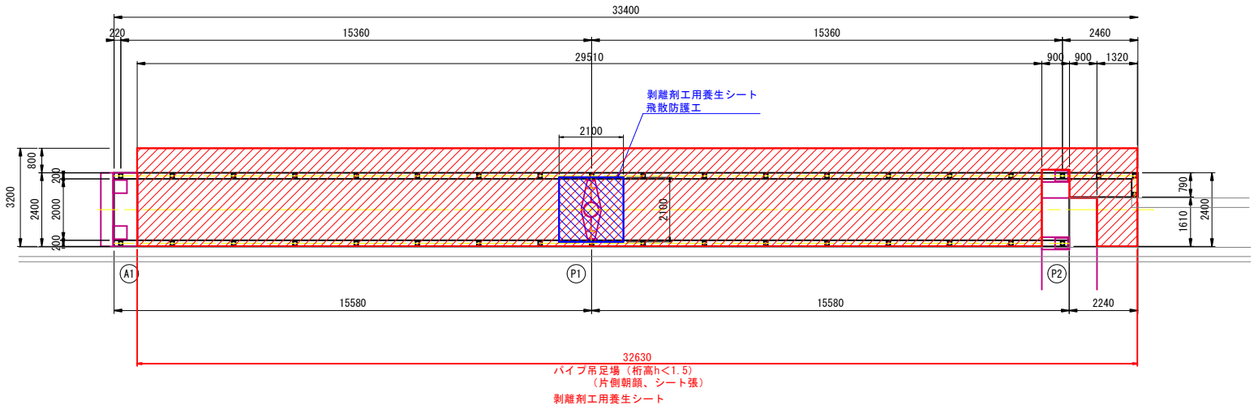
L　＝　16.0 m

沖野上新涯幹線1号歩道橋 施工一般図

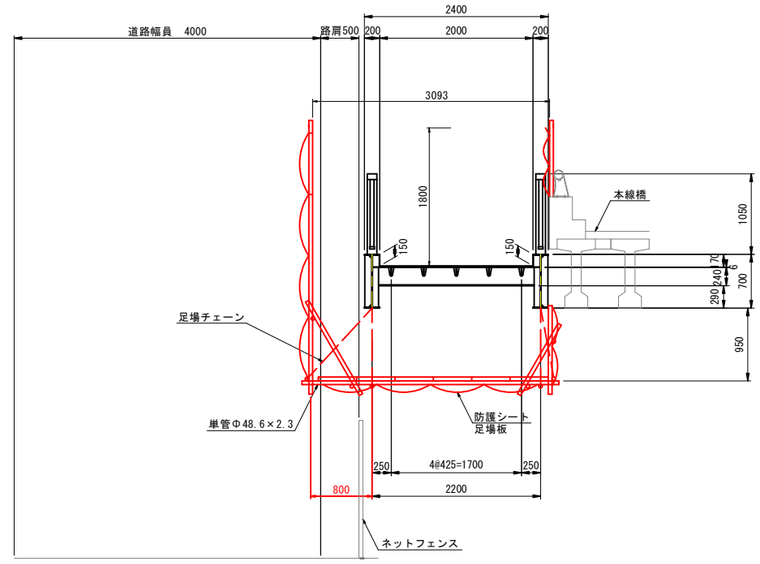
側面図　S=1:100



平面図　S=1:100



上部工断面図　S=1:40



補修施工手順

桁下施工

現地計測
⇩
足場設置　・吊り足場
⇩
桁下補修　・全体塗装塗替工
・ナット取替工
⇩
足場撤去

（注記）
1. 地形図、路面高、水位高等は、道路台帳平面図を参照したもので、測量図ではない。
2. 側面図、断面図、平面図の橋長及び幅員については管理値ではない。
3. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、計画内容と照合すること。

令和８年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月　2026年(令和8年)10月

図面番号	参考図1	縮尺	図 示
工種	横断歩道橋修繕工事		
種別	施工一般図	番号	/
橋梁名	沖野上新涯幹線1号歩道橋		
工事箇所	福山市新涯町二丁目地内		

福　山　市